

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	液状化小委員会	主 査 名：時松孝次 就任年月：2011 年 8 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	基礎構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：中井正一
設 置 期 間	2011 年 8 月～2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・東北地方太平洋沖地震において、浦安市で発生した甚大な液状化被害を調査・把握し、今後の設計・対策・復旧に反映させることを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：時松孝次(東工大) 幹事：内田明彦(竹中工務店)、田村修次(京大) 委員：安達俊夫(日大)、阿部秋男(東京ソイル)、新井洋(国総研)、社本康弘(清水建設)、鈴木康嗣(鹿島建設)、関口徹(千葉大)、田村和夫(千葉工大)、中井正一(千葉大)、畑中宗憲(千葉工大)、松下克也(ミサワホーム)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	一 円 (委託契約による)	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. (名称) 液状化対策技術検討調査に関する市民報告会(12/18) 参加者数 400 名 (資料名) 同上 2. (名称) 浦安市における液状化ならびに対策技術の調査・検討に関する報告会(2/10) 参加者数 260 名 (資料名) 同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 地盤特性による液状化被害の差とそのメカニズムを把握した。 2. 現行指針の液状化判定法の妥当性を確認した。 3. 住宅復旧に向けた効果的な液状化対策工法の提案を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 残された課題は次年度設置の小委員会で実施する。